

センター通信

2016年6月・7月〔第232号〕

Create(創造), Challenge(挑戦), Collaborate(協働)を大切に

発行 社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会

広島市就労支援センター

TEL (082) 537-1331

FAX (082) 537-1332

E-mail: si-jusan@gaea.ocn.ne.jp

http://h-shisyurou.jp/

ひろしまフラワーフェスティバル 「ふれあいの広場」

シンボル塔



平成28年5月3日(火)～5日(木)に、第40回「ひろしまフラワーフェスティバル」が開催されました。国際会議場と平和大通りの間で繰り広げられる「ふれあいの広場」は、今年で36回目を迎えました。今年のテーマは「手をつなぎ 笑顔で咲かそう 平和の花」でした。5月3日、最初に「ふれあいマーガレット隊」によるパレードがスタートし、終点の横にある「ふれあいの広場」のステージで引き継ぎ式が行われ、午後からはオープニングセレモニーに続いてステージ発表が始まりました。就労支援事業所展示即売コーナーでは、20ブースに3日間で25事業所が出店販売しました。また、お好み焼きコーナー、お茶席コーナー、綿菓子販売コーナー、今年から始めたスーパーボールすくいコーナーがあり、作業所紹介コーナーでは、一定額の商品を買われた方々に豪華賞品や出店事業所に提供していただいた製品が当たる三角くじの抽選が行われました。

しかしながら、5月3日は、残念ながら昼前から雨が降り出し、午後4時前にはステージ発表中止という大雨になりました。そんな「ふれあいの広場」の一日を追ってみました。

9時前 準備開始



事業所出店販売



綿菓子
三角くじ抽選
スーパーボールすくい



お茶席コーナー
抹茶セット
コーヒー等



お好み焼き

12時頃、雨の中でのパレード



毎年、事業所のスタッフ・ボランティアと公募したボランティアが協力して各コーナーを盛り上げます。

なお、お好み焼き、お茶席、

ステージへの引き継ぎ式



綿菓子、スーパーボールすくいの収益は来年の運営費の一部になります。

5月4、5日は好晴に恵まれてお客様がたくさん来られました。事業所の出店販売も含めて、初日の雨の日を埋め合わせる売り上げになりました。

来年もよろしくお祈りします。



「cafe さくら」は「森の工房 AMA」の一角にあります。社会福祉法人安芸の郷（広島市安芸区矢野東2丁目4-26 TEL082-888-8820）が運営する「森の工房 AMA」と「第2森の工房 AMA」は、障害を持った人たちが個人の尊厳を尊重され、地域社会の中で自立した生活ができるように支援していくために設立されました。誰もが安心して気持ちよく働ける緑豊かな環境とブルーベリー栽培を通して労働と生産、自由活動の喜びが実感できる場所です。当法人が特に力を入れているのがブルーベリー栽培と加工です。海田町三迫の畑、AMAの施設屋上での栽培と広島市豊栄町折羽農園からの仕入れで、必要量を確保しています。農薬を使用せず、手間暇をかけて育てたブルーベリーは、ジャムやソース、ケーキに使用し、生食用や冷凍の販売も行っています。当法人は、いくつかの食品に携わる事業所があります。まず、「森の工房みみずく」では、ブルーベリーの加工やクッキー、お菓子の製造を行っています。「森の工房あやめ」では、天然酵母パンの製造を行っています。これらの製品は、安芸の郷の情報発信や自主製品の販売、利用者の方の仕事の場として、「第2森の工房 AMA」に作り出した「cafe さくら」で販売しています。



開店当初から、利用者の方と共に接客や料理をしています。今年の秋で4年目を迎えますが、最近では利用者の方から「接客をする時、お客様と話をし、商品の説明をすることが楽しい。」という声が聞かれる等、余裕が出てきました。また、当初はキッチン内で、洗い物や飲み物を作ることが中心だった仕事内容が、今では注文が入ると自分たちで動きはじめ、調理から料理の提供

まで行えるようになってきました。時間に余裕がある時はスイーツも作っています。プリンやシフォンケーキなど、レパートリーを広げています。「森の工房みみずく」で作ったおいしいケーキと共に人気が出てきています。「森の工房みみずく」のケーキといえば、「ブルーベリーのワッフルコーン」（右の写真）です。早ければ6月初旬から提供しています。また、同じ時期からブルーベリーの生ジュースも始まります。広島市内では「cafe さくら」でしか味わえない逸品です。そのほかにも、シュークリームや、チーズケーキなどがご賞味いただけます。お持ち帰りいただくことも可能です。お食事では、「森の工房あやめ」が「cafe さくら」のために特別に焼いたパンを使用したサンドを作っています。当店一番人気のローストビーフサンドがおすすめです。ブルーベリーとバルサミコ酢を合わせたオリジナルのソースがローストビーフに良くあっています。自慢の味を一度ご賞味ください。



数年前までは、隠れ家的な店として、常連のお客様を中心にゆっくりとご利用頂いていました。しかし、最近はお客様のご紹介や口コミのおかげで、お昼以降はお待ち頂くことが増えてきています。ここだけの話ですが、月曜日や雨の日が穴場で、ごゆっくりお楽しみいただけます。「cafe さくら」は、ご来店していただいたお客様が「来てよかった。」「また来たい。」と思っただけけるよう、日々、利用者の皆さんとスタッフがー丸となって、努力を重ね、皆様のご来店をお待ちしております。

（生活支援員：高橋頼信）

平成27年度 販路開拓・技術支援事業報告

～おりづる作業所・オリーブの新製品～

この事業は、広島市心身障害福祉基金（尾崎基金）の助成金で実施しています。

◎アドバイスを受けた理由

おりづるの庭では、仲間たちとレモングラスやローズマリーなどのハーブを育てて収穫しています。みんなで育てたハーブを使用した商品として、サシェ（香り袋）を商品化するため、いろいろと試作してきましたが、職員間では平凡なアイデアしか浮かばず、行き詰まり感がありました。『ハーブを使った売れる商品が作りしたい！』という思いから、技術支援事業を受けました。

◎実施内容

- ◇ アドバイザー：広島市中小企業支援センター 新商品開発コンサルタント 新居 敏晴 氏
- ◇ 2015年8月から2月まで毎月、計7回実施（場所：おりづる）して、商品づくりをすすめていきました。

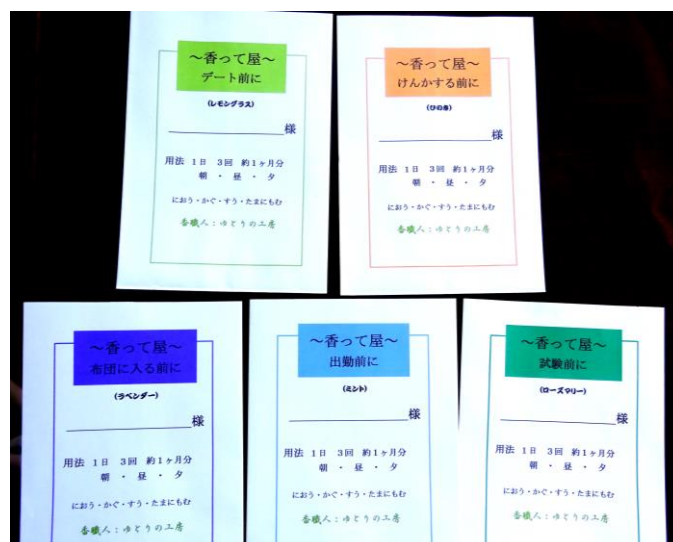
- ◇ 2016年2月22日（月）全体研修会～合同報告会～

アドバイスとして、現在のサシェは、“セールスポイントが定まっていない”“ラッピングものが絞れていないのでまとまっていない感じがする”という指摘があり、売り方を考え、セールスポイントを明確にする、ということで試行錯誤が始まりました。

今の時代の流れを考えて、『あそび心を大切に』『ギャップのある面白さ』『ノリで考える』『ストーリーを考える』『パッケージの面白さ』など、アドバイザーからの提案をいただきながら、パッケージの商品名や、文言を練っていきました。

また、商標登録の確認や、価格の決め方においてもアドバイスをいただきました。

こうして、ドライハーブを使用したユニークな商品《香って屋》シリーズが出来ました。



写真のように、薬の処方箋をまねて外袋をつくり、中にドライハーブを入れました。ローズマリー、ひのき、レモングラス、ラベンダー、ミントの5種類あります。香りがかぐと、ハーブの持つそれぞれの効能で、リフレッシュ効果や集中力アップなどに効果があると期待できます。

ちょっと洒落っ気のあるプレゼントとしていかがでしょうか？

（生活支援員 隅田智子）

広島市役所 1 階ロビー、安佐北区(区役所、総合福祉センター) 出店販売

6月、7月の出店販売は下記のとおりです。パン、クッキー等の食品を中心に販売しています。販売時間は12:00~13:00です。昼食とか、残業時の間食に是非ともご購入ください。皆様のお越しをお待ちしています。

広島市役所 1 階ロビー (東側)				
出店販売日	事業所 (1)	事業所 (2)	事業所 (3)	
6月	7日	広島どんぐり作業所	おりづる作業所	すまいるスタジオ
	14日	SOAR きつつき	スーリール	つくしんぼ作業所
	21日	未来館	おりづる作業所	アイサンサン作業所
	28日	広島皆賀園	元気工房やる気まんまん	みのり作業所
7月	5日	未来館	広島どんぐり作業所	つくしんぼ作業所
	12日	広島皆賀園	元気工房やる気まんまん	安芸の郷
	19日	もみじ福祉会	スーリール	ワークハウススマイル
	26日	SOAR きつつき	おりづる作業所	サンライズ

出店販売日	安佐北区役所 1 階ロビー	安佐北区総合福祉センター 2 階	
6月	7日	お菓子工房エール	憩
	14日	つくし工房可部	亀崎夢ひろば
	21日	可部つちくれの家	お菓子工房エール
	28日	亀崎夢ひろば	可部つちくれの家
7月	5日	お菓子工房エール	つくし工房可部
	12日	つくし工房可部	亀崎夢ひろば
	19日	憩	お菓子工房エール
	26日	亀崎夢ひろば	可部つちくれの家

職員退職

長年、営業を担当していた職員 黒神博紀氏が3月末をもって定年退職しました。精力的に販路を開拓し、数多くの事業所の売り上げ増収に貢献しました。当センターでは、これらの販路を引き継ぎ、大切に維持し、さらなる売り上げ向上に努めます。

「センター通信」では、新商品の開発や新店舗の開設、イベント、その他、障害者の就労支援に関する話題、情報及び皆様のご意見を記事にします。ご連絡があれば、取材にお伺いすることもできます。皆様のご協力、役に立つ「センター通信」を目指していますので、よろしくお願いいたします。

